

## 地元のイベントで自衛隊をPR



自衛隊広報ブースの様子

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長竹崎一陸尉）は、11月8日（土）、NTT新保土ヶ谷ビル（横浜市保土ヶ谷区）で行われた、NTT東日本主催の、「ほどがやつなぐふれ愛フェスティバル2014」に広報ブースを出展し、PRを行った。当イベントには、NTT東日本から「自衛隊の方々にNTTのイベントには是非、参加してほしい」という要請を受けて、今回初めての参加となった。

広報ブースでは、御嶽山の災害派遣写真のパネル展示や制服試着、そして、南極の氷と石の展示を行った。ブースには多くの方が訪れ、「南極の氷って本物ですか？」と疑問をもたれた方には、「砕氷艦「しらせ」が南極から運んできた本物ですよ」と説明すると、納得していただいた場面もあった。この日のイベント模様は、11月12日（水）にテレビ神奈川の「ありがとッ！」という番組で、自衛隊の参加についても紹介された。

横浜中央募集案内所は「今後も、地域と密着したPR活動を通じて、より多くの方々に自衛隊を理解してもらおう」としている。

## 神奈川地本災害対処訓練を実施



指揮所で被害の第一報を本部長に報告する担当者



非常用の電源確保手順の教育

神奈川地方協力本部（本部長 高田充一 海佐）は、11月12日（水）、大規模地震発生直後における基本的な指揮所の運営訓練を実施した。

訓練は、午前9時に駿河湾沖を震源とするマグニチュード8.0、静岡県で震度「7」、愛知県や山梨県で震度「6強」、神奈川県で震度「6弱」の地震が発生したという想定で、被害の情報等を状況付与し、神奈川県庁等へのLOの派遣、隊員、家族、予備自衛官及び入隊予定者等の安否確認、県内の被害状況の把握及び報告等を演練した。

また、12ヶ所の出張所から送られた被害状況を東部方面総監部、第31普通科連隊及び神奈川県庁に報告・通報するという訓練も行った。

更に、訓練と並行して停電時の発電機による電源確保要領の手順を本部庁舎において教育した。

神奈川地方協力本部は、「地震発生直後における各課室の任務の理解、情報の収集・報告等、一連の行動についてイメージアップを図ることができた」としている。

## 神奈川県災害対策本部訓練に参加



県災害対策会議に参加中の神奈川地本LO(手前)

神奈川地方協力本部（本部長 高田充一 海佐）は、11月14日（金）、神奈川県庁で実施された災害対策本部訓練に参加し、神奈川県との連携強化を図った。

訓練は、午前7時に南関東地震（マグニチュード7.9、最大震度7）が発生したという想定で、県庁職員の緊急参集及び災害対策本部会議が行われた。

災害対策本部長である黒岩知事も自宅から徒歩で登庁され、県災害対策本部室において県庁各局等からの状況報告を受けた後、当面の対応方針の重点を掲示したところで訓練が終了した。

神奈川地方協力本部は、LOを派遣し、災害対策本部会議に参加するとともに、訓練終了後、安全防災局と意見交換を行い、連携を深めていた。

神奈川地方協力本部は、「今後も、自治体との連携を深め即応態勢の向上に努めていく」としている。